

告知版

はやばやしているうちに、もう一年経ち、本事務局最終便を費かねばならぬことになりました。あまりペットしない活動ぶり、全く申訳のない次才です。

本号は前号発行から少々間延びなつたので、内容だけはせめてもつと充実したものを思つたのですが、編集の不手際からか、原稿の寄りが思うように参らず、残念でした。三、四名の原稿予約がありながら、現物がとどかず、ざりざりまで待つたのですが、間に合いかねました。この会では「研究通信」が唯一の連絡方法ですので、どうかもう少し活潑な御寄稿をおねがひしたう。交換台の役割が事務局の主な仕事ですので、どうも閑散な通話ぶりの一年というよりは、ほかない状態。次回の事務局の方への申おくりも、才一はこの点をどうするかという事です。

大会も間近い。共同課題を中心に実のりの多い成果を何より期待していますが、協議の際に、会自体の運営を活発にすることに

ても、いさゝると改善策をおたがいに検討し合いたいものと思ひます。

昨年の大会以後の会員の異動、会費納入の状況は別記のようです。会費の納入をもつと励行して頂くこと、会員の勧誘の方法をどうするか。こんな点も一つの課題でしょうか。同封のハガキは、大会参加の有無の問合せですが、名簿訂正の資料にも活用したいので、ぜひ御回答下さい。郵便の転回送が多いようですので、この際正確なところをせびとらえたうのです。同平、御返力下さい。

村研概況

(一) 会員数 二〇一名(十月現在)

(地方別内訳)

- 北海道 三四名、東北 二二名
- 関東 六三名、中部 二四名
- 近畿 二三名、四国、中国一〇名
- 九州 二四名、外地 二名
- (二) 会費納入
- 昨年度分納入者 五五名(納入率二七三%)

(本年度分納入者 三名)
大会以後の納入者 八名

(事務局扱) 一〇名
(本部扱) 一八名
計

(三) 大会後の新入会員

- 向山 雅重(長野県駒ヶ根市宮田田中)
- 田野崎昭夫(仙台市片平丁、東北大学文学部)
- 棟崎 京一(東京都世田谷区代田、東京教育大)
- 飯塚 博久(野馬繁館林市足次)

(四) 村研年報

- 才一集 村落研究の成果と課題(九五四年) A 6版、二六〇頁、三〇〇円
- 才二集 農地改革と農民運動(二九五五年) A 6版、二四四頁、三〇〇円
- 才三集(近刊) 村落共同体の構造分析(九五六年) A 5版、二七八頁、四二〇円

△発行所 東京都文京区向ヶ岡彌生町三時 潮社

(振替東京三九二〇)